

津奈木町

総人口…4,026人 男…1,905人 女…2,121人 世帯数…1,647世帯
(人口構成) 15歳未満…10.0% 15~64歳…45.0% 65歳以上…44.9%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



山田 豊隆 町長

本町は熊本県の最南部に位置しており、西側は九州の地中海と呼ばれる穏やかな不知火海に面し、県立自然公園にも指定された美しいリアス式海岸が続いています。その海岸線近くまで迫る山の段々畑では、温暖な気候を利用して甘夏やデコボンの果樹園が広がっており、湾内ではタイやフグ、ヒラメなどの養殖が行われています。町の特徴的な取組みとしては、昭和59年から40年近くにわたり、アートによるまちづくりを進めています。



- 寄附御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄附額10万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦 ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

農林水産物の販路拡大と新商品・サービス開発

中山間地における担い手の減少や生産量減少に対応した農林水産業者の経営安定化を図るためには、生産物の高付加価値化を実現しなければなりません。そのため、市場競争力のある高品質なものづくりをいかに進めるかが課題です。



国内流通量の1%にも満たない国産アボカド



カテゴリー6 観光客の誘致・地域PR

働き方の変容にも対応した、新たな観光地づくり

本町は観光地ではありません。しかし、海、山、川の美しい自然環境を土台として、環境配慮型農業やスローフード、アートの取組みを有します。それら資源を活かしつつ、働き方の変容にも対応した、新たな観光地づくりが課題です。



つなぎ美術館と舞鶴城公園を結ぶモノレール

津奈木町まち・ひと・しごと創生総合戦略

住みたくなるまちづくりの実現を

基本目標

1

稼げるまちをつくとともに、安心して働けるようにする

本町の基幹産業である農林水産業を稼ぐ産業に転換させるとともに、地域資源等を活用した新産業を創造し、安定した雇用を生み出す。

基本目標

2

世界とつながり、津奈木町への新しいひとの流れをつくる

関係人口の構築をテーマにした情報発信や交流事業を世界に向けて行うことで、応援したくなる・訪れたくなる・住みたくなる人を増やす。

基本目標

3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

子どもからお年寄りまで健康でいきいきと活躍することができるよう、保健医療、福祉、教育分野における各種サービスの充実を図る。

基本目標

4

ひとが集う、安心して暮らせる魅力的なまちをつくる

必要な生活基盤や社会システム等を整備するとともに、暮らしの豊かさを基準とした地域コミュニティづくりを推進する。

津奈木町

重点プロジェクト

持続可能な中山間地をつくる、まちづくり商社の設立を

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費** 113,500千円 寄附目標額 —
- 数値目標**
- 雇用創出数……………10人
 - 起業・業務拡大件数 ……10件

津奈木町の温暖な気候で育まれた農林水産物やそれらを活用し生み出された商品・サービス等の販路拡大を図るため、新たな事業推進体として町産品のブランディングや営業・販売を専門的に行うまちづくり商社を設立し、町おこしにつながるあらゆる事業を推進することで「稼げるまち」を実現する。

また、事業推進に当たっては、これまで連携が手薄であった地域づくりや観光分野との連携も強化し、魅力ある地域資源の開発と効果的な情報発信を行うことで、交流・関係人口の増加を基礎とした魅力あるまちづくりを推進する。



町産品を取り揃える「つなぎ百貨堂」

寄附の具体的なメリット

観光地でもなく知名度もない中山間地域の本町で、持続可能な地域経営モデルを官民共同で創出することは、全国に点在する過疎地・中山間地の希望になる事業になると考えます。事業の進捗等については、随時、町ホームページ等で情報発信します。

寄附申出書の事業名選択時は「新しいひとの流れをつくる事業」を選択してください。

重点プロジェクト

つなぎ温泉四季彩周辺のエリアリノベーション構想推進事業

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費** 587,000千円 寄附目標額 —
- 数値目標**
- 観光入込客数の増……………135,923人→180,000人
 - 観光入込客数(宿泊)の増 ……0人→3,480人(年間)

九州新幹線や南九州西回り自動車道の開通により関西や福岡都市圏などからのアクセス性は飛躍的に向上したものの、本町における充実した滞在を実現するためには、町内での宿泊や域内周遊性の確保等によって来訪者の滞在・滞在時間を延長させるハード・ソフト両面の取組みが必須である。

そのため、拠点性の高い町中心部に新たに宿泊施設を整備するとともに、そこを起点とした域内周遊性を高めるためのエリアリノベーションと魅力ある観光地域づくりを推進し、交流拡大と滞在時間の延長を軸とした地域活性化を図る。



現在のつなぎ温泉四季彩

寄附の具体的なメリット

観光地でもなく知名度もない本町における町周辺部のエリアリノベーションを官民共同で実施することは、全国に点在する過疎地の中心市街地活性化モデル事業となります。事業の進捗等については、随時、町ホームページ等で情報発信します。

寄附申出書の事業名選択時は「新しいひとの流れをつくる事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。